

農 研 速 報



平成 23 年 7 月 25 日 発行
 茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室
 〒301-4203 茨城県水戸市上国井 3402
 TEL 029-239-7212 FAX 029-239-7306

水稻の生育状況（7 月 20 日現在、水戸市）

地域名	移植時期	生育ステージ	対 平 年 遅 速	生育概況及び今後の栽培管理	備 考
茨城県 (水戸市)	5 月 2 日	(あきたこまち) 穂揃い期 (コシヒカリ) 穂孕み期	(あきたこまち) 2 日早い (コシヒカリ) 1 日早い	<p>6 月第 3 半旬～7 月第 3 半旬にかけて、平均気温は 5 程度高く、日照時間は平年よりも多く推移した。 あきたこまちの出穂期は 7 月 17 日で、平年より 2 日早かった。</p> <p>コシヒカリの出穂期は、幼穂長からみて平年より 1 日早いと予測される。 両品種ともに平年と比較して、草丈は長く、茎数は多く、葉色は平年並である。</p> <p>今後の栽培管理：</p> <p>1) 各品種とも、3～4 日間隔で入水と自然落水を繰り返す間断灌漑を行う。</p> <p>2) 登熟期の早期落水は、乳白粒や胴割粒などを発生させる。 落水時期の目安は、あきたこまちが出穂後 25 日、コシヒカリが出穂期後 30 日である。</p>	
	5 月 10 日	(コシヒカリ) 幼穂形成期	(コシヒカリ) 3 日早い	<p>6 月第 3 半旬～7 月第 3 半旬にかけて、平均気温は 5 程度高く、日照時間は平年よりも多く推移した。 幼穂長からみて、出穂期は平年より 3 日早いと予測される。 平年と比較して、草丈は長く、茎数は多く、葉色は平年並である。</p> <p>今後の栽培管理：5 月 2 日移植に準じる。</p>	

水 稻 の 生 育 状 況

(作物研究室)

・ 5月2日移植 (移植後80日、7月20日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色 (カラスケール)			葉色 (S P A D)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	108.7	101 (108.0)	112 (97.1)	635	117 (543)	112 (569)	4.6	-0.2 (4.8)	±0 (4.6)	37.6	-0.9 (38.5)	+0.5 (37.1)	12.9	±0 (12.9)	+0.2 (12.7)
コシヒカリ	102.4	106 (96.9)	114 (89.5)	581	114 (508)	113 (513)	4.1	-0.3 (4.4)	±0 (4.1)	33.5	-1.3 (34.8)	+0.4 (33.1)	13.1	+0.1 (13.0)	+0.4 (12.7)

・ 5月10日移植 (移植後72日、7月20日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色 (カラスケール)			葉色 (S P A D)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
コシヒカリ	96.7	113 (85.7)	113 (85.4)	536	132 (406)	110 (489)	3.8	-0.4 (4.2)	-0.1 (3.9)	31.4	-3.5 (34.9)	-0.5 (31.9)	12.1	-0.3 (12.4)	-0.2 (12.3)

・ 5月25日移植 (移植後50日、7月14日調査)

品 種	草 丈		茎 数		葉色 (カラスケール)		葉色 (S P A D)	
	本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	平年比 (%)	本年	平年差	本年	平年差
コシヒカリ	90.9	123 (73.8)	650	112 (578)	4.2	-0.1 (4.3)	33.8	-2.9 (36.7)

・ 6月10日移植 (移植後40日、7月20日調査)

品 種	草 丈		茎 数		葉色 (カラスケール)		葉色 (S P A D)	
	本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	平年比 (%)	本年	平年差	本年	平年差
コシヒカリ	85.9	125 (69.0)	620	115 (540)	4.3	-0.3 (4.6)	36.6	-3.0 (39.6)

・6月24日移植（移植後20日、7月14日調査）

品 種	草 丈		茎 数		葉色（カラスケール）		葉色（SPAD）	
	本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	平年比 (%)	本年	平年差	本年	平年差
コシヒカリ	48.9	131 (37.2)	636	204 (312)	4.8	+0.1 (4.7)	41.6	+4.7 (36.9)

（ ）内は前年または平年の実数値を示す。

【耕種概要】 1) 苗質：稚苗

2) 植え付け本数：5本/株

3) 栽植密度：22.2株/m²

【平年値】 5月2日、10日移植は平成18～22年の5年間の平均値

5月25日、6月10日移植は平成7～11年の5年間の平均値

6月24日移植は平成7、8、10年の3年間の平均値

4) 基肥窒素量

あきたこまち N:P₂O₅:K₂O = 0.8:2.0:1.8(kg/a)

コシヒカリ N:P₂O₅:K₂O = 0.6:1.5:1.4(kg/a)

5) 追肥時期及び追肥施用量

(5月2日移植) あきたこまち 7月4日 N:K₂O=0.3:0.3(kg/a)

(5月2日移植) コシヒカリ 7月12日 N:K₂O=0.3:0.3(kg/a)

(5月10日移植) コシヒカリ 7月19日 N:K₂O=0.3:0.3(kg/a)

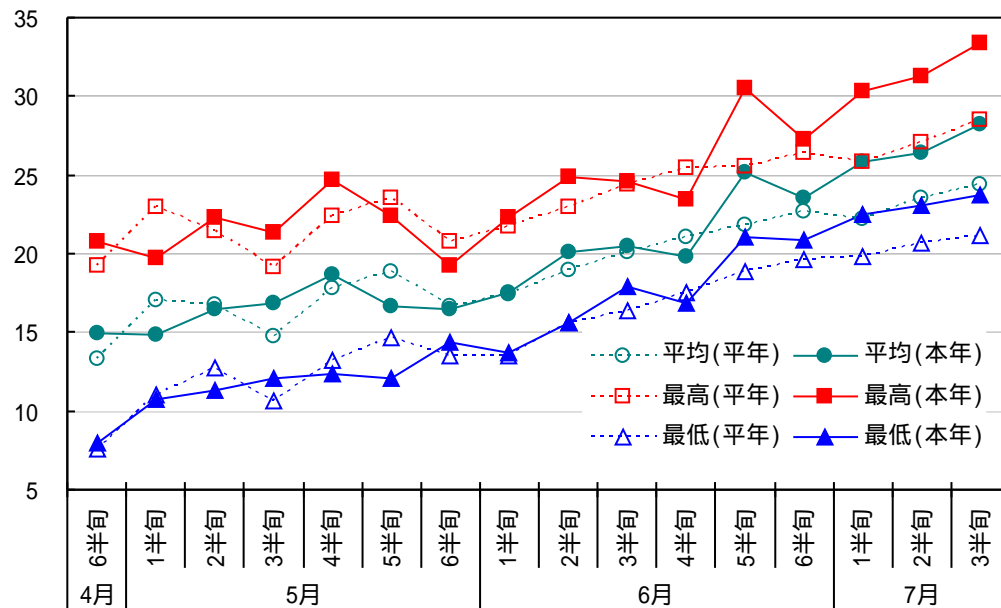
・幼穂長からみた出穂期予測

移植時期	品種	調査日 (月日)	主稈幼穂長 (mm)	出穂期予測			備考
				本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (月日)	
5/2移植	あきたこまち	-	-	7/17	7/19	-2	出穂期確定
5/2移植	コシヒカリ	7/20	147.5	7/29	7/30	-1	
5/10移植	コシヒカリ	7/20	83.2	7/31	8/3	-3	
5/25移植	コシヒカリ	7/20	8.0	8/7	8/13	-6	
6/10移植	コシヒカリ	7/20	0.9	8/14	8/21	-7	

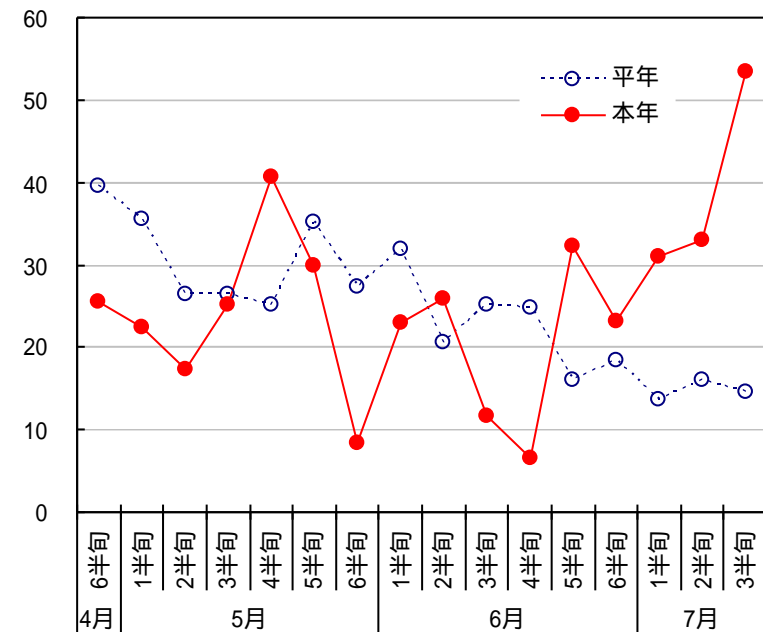
注) 予測は平成16、18年度の成果「有効積算温度と幼穂長による水稻の出穂期予測」に基づいて行った。

ただし、コシヒカリ（5月2日移植）については、幼穂長が100mm以上のため、幼穂長と出穂前日数（星川）の表から求めた。

気温の推移



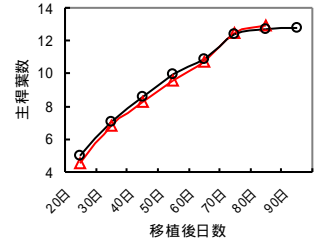
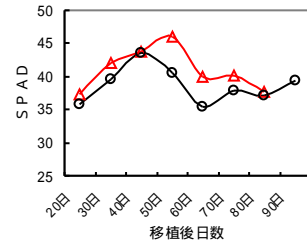
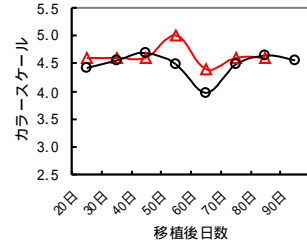
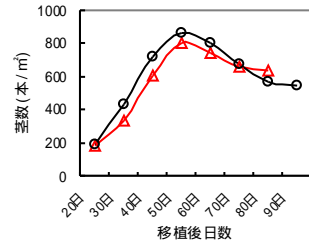
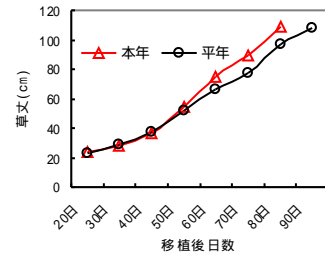
日照時間の推移



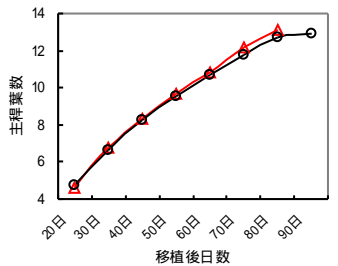
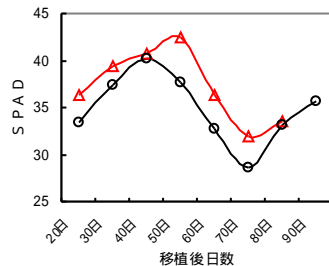
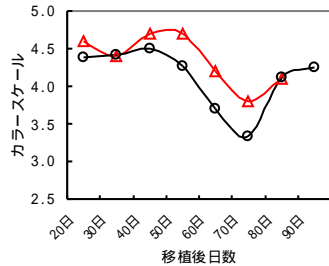
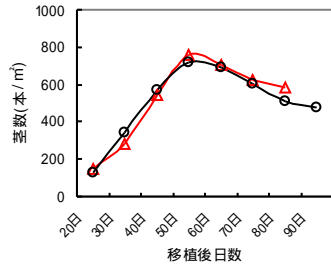
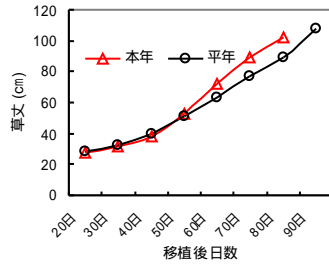
移植時期別の
気象条件

移植時期	期間	平均気温()			積算平均気温()			積算日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比(%)
5月2日移植	5月第1半旬～7月第3半旬	20.5	19.6	0.9	1551.7	1486.9	64.8	384	358	107
5月10日移植	5月第3半旬～7月第3半旬	21.2	20.0	1.2	1395.2	1317.7	77.5	344	296	116

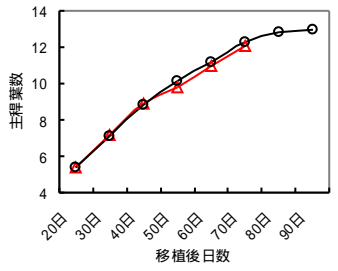
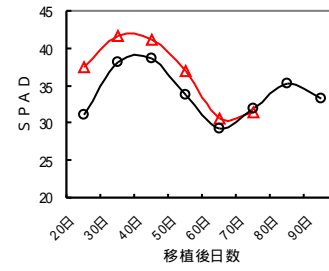
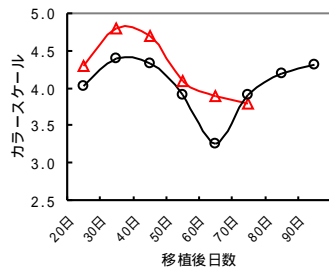
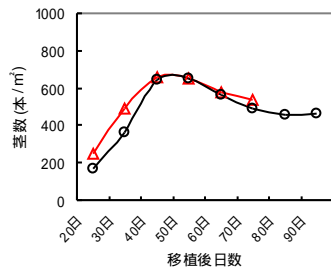
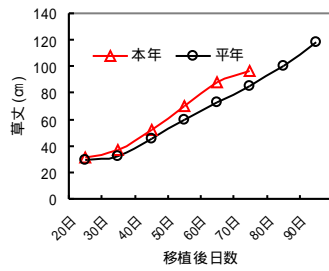
あきたこまち
5月2日移植



コシヒカリ
5月2日移植



コシヒカリ
5月10日移植



【 5 月 2 日移植の生育状況 】

撮影日：7/21、22

あきたこまち



コシヒカリ



【 5 月 10 日移植の生育状況 】

撮影日：7/21

コシヒカリ

